

## 小学館からのお知らせ

### 「コミックス脱シュリンクパックプロジェクト」について

平素より弊社事業に格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、現在、多くの書店においてコミックスは立ち読み防止や商品保護のためにシュリンクフィルムを使って包装（シュリンクパック）されています。小学館では、2018年3月から5月にかけて、書店3法人（三洋堂書店・文教堂書店ほか）28店と個店参加8店の計36店にご協力いただき、対象となる小学館のコミックスの1巻と最新巻をシュリンクパックせず、1冊丸ごと試し読みできるようにする「コミックス脱シュリンクパックプロジェクト」を実施いたしました。また併せて、プロジェクトの結果、コミックス売り場と店舗全体の活性化につながったかどうかの検証を行いました。

対象タイトルは、少女・女性向けレーベル（FC/flowerC）から『コーヒー&バニラ』『海街diary』など、少年向けレーベル（SSC/ゲッサンSSC等）から『MAJOR2nd』『からかい上手の高木さん』など、青年向けレーベル（BC）から『BLUEGIANT SUPREME』『空母いぶき』など人気の最大35タイトルです。プロジェクト参加書店には、試し読み用コミックスのための透明カバーと試し読みをアピールするポスターなどをお送りし、店頭展開及び売上データの開示とアンケートへの協力をお願いしました。

その結果、少女・女性向けレーベルで顕著な売上向上データ（非参加店比20%増）が得られました。他レーベルの売上向上データは今回得られませんでした。アンケートでは「来店客に読まれている実感がある」85%、「売れ行きが増したタイトルがある」42%など効果が実感できるとの報告が寄せられました。

小学館では、「書店に行けば話題作に出会える。新しい発見がある」ということを広く訴え、コミックス売り場と店舗全体を元気にするために、「コミックス脱シュリンクパックプロジェクト」を継続・拡大していく所存です。



三洋堂書店西尾店(愛知県)での実施の様子



透明カバー装着の試し読みコミックス